

695 号・完了稿・はやぶさ 2 逆境を突破し続ける女性経営者の軌跡③ 経験をビジネスに -
ゼロからの再起と独自の成長戦略 2025年04月 25 日(金)

中小企業経営者列伝、第 16 弾。4 回シリーズ

太陽のような母と、倒れた父から受け継いだ経営魂。

父の倒れた日から始まった、本当の人生。

“返す”と決めたら、すべてが動き出した。

5 億円の借金、夜の世界、そして M&A

- 逆境を突破し続ける女性経営者の軌跡

会社 2 社を保有しながら生保レディを務める

兼城麗奈氏

済:【第 1 話】突然の事業承継と 5 億円の負債 - 恵まれた環境からの転落

済:【第 2 話】昼は歯科衛生士、夜はキャバクラへ - どん底で見つけた活路と学び

【第 3 話】経験をビジネスに - ゼロからの再起と独自の成長戦略

【第 4 話】予期せぬ試練、そして未来へ - 託す勇気と経営者の在り方

【第 3 話】経験をビジネスに - ゼロからの再起と独自の成長戦略

【目次】

■見えない未来の中で

■ブルーオーシャンへの挑戦

■夜の街の「営業戦略」

■さらなる広がり と 5 億円完済

■次なる挑戦、M&A

■見えない未来の中で

月々の返済日を前にすると、兼城麗奈はいつも何者かに追われているような気がした。

昼間は歯科衛生士、夜はキャバクラ嬢として限界まで働いて頑張って返済する生活。

元金はほとんど減らない。

そんな中で、麗奈を支援してくれる人が現れ、気持ちの上で大きく楽になった。

そんな麗奈はある深刻な「痛み」に気づいていた。

「これだけ頑張っても、キャストには何の保障もないなんて…」

会社員であれば当然受けられるはずの生活保障や福利厚生。

しかしフリーランスや個人事業主、特に夜の世界で働く女性たちには、そうした保障が極めて薄かった。

働きは社員としての動きと同じなのにである。

そんな彼女たちにとって確定申告や税金、保険の手続きはとても面倒で煩雑。

知識がないと損をすることも多い。

麗奈自身も苦労したからこそ、その痛みを誰よりも理解できた。

「もしかしたら、この苦労をビジネスに変えられるかもしれない」

5 億円という途方もない借金を背負い、どん底を味わったからこそ気づけたチャンスだった。

■ブルーオーシャンへの挑戦

麗奈が着目したのは、フリーランスや水商売の女性たちの「経理代行ビジネス」だった。

自分と同じように不安定な収入の中で生活を支え、

将来設計を立てられるようサポートしたい。

その想いは、まさにブルーオーシャンだった。

誰もが煩わしく感じるが、誰かが絶対にやらなければいけない領域。

しかも、ターゲットは自分自身が深く理解している層だ。

「これは勝てる」麗奈は直感した。

キャバクラで働き続けながら、麗奈は経理代行会社の設立準備を進めていった。

コンセプトは明確だった。

「フリーランスや夜の世界で働く女性たちが安心して確定申告でき、将来をしっかりと見据えられるようにする」

早速麗奈は動き始めた。

■夜の街の「営業戦略」

しかし、どうやって顧客を掴むのか？

麗奈が考え出したのは、再びキャバクラでの経験を活かした大胆な戦略だった。

全国のキャバクラを自らの足で回り、直接店のママやマネージャーに営業したのだ。

「キャストさんの確定申告、うちにらせていただけませんか？」

最初は訝しげだった店側も、麗奈が具体的な悩みを挙げ、

「副業が(本業の)会社にバレないノウハウ」

「お店のクリーンなイメージ向上」

というメリットを提示すると、徐々に信頼を寄せてくれた。

さらにキャストの独立支援も行ったことで、店側とキャスト両者に喜ばれ、Win-Win の関係が築けたのだ。

キャストともボトルを入れてじっくりと話をした。

自分の身の上話をして彼女たちのプライベートな相談にも乗った。

「麗奈さんのところなら安心できる」

口コミは瞬く間に広がった。

自分がその世界で働き、痛みを理解しているからこそ響く言葉があった。

■さらなる広がり 5 億円完済

麗奈の営業は夜の街だけでは止まらなかった。

扱いは独立事業主であるのに、業務は社員と同じと言えば生保レディもそうなのである。

そう思いついた麗奈は関東中の保険営業所を訪ね、生保レディたちの確定申告代行も獲得した。

ここでもキャバクラで磨かれたコミュニケーション力と人脈戦略が威力を発揮し、信頼関係を軸に顧客を広げていった。

設立からわずか数年、顧客は 3 万人を超え、ついに麗奈は 5 億円の借金を完済した。

「返すと決めた日から、ずっと夢見てきたこの瞬間」

支援してくれた人々、
苦しい時も支えてくれた仲間たちの顔が次々と浮かび、麗奈の目から涙があふれた。

■次なる挑戦、M&A

借金は返したが、新たな課題も見えてきた。

申告は税理士の独占業務である。
その税理士への申告依頼がこちらではできず顧客本人が行わないといけないのだ。

さらに言うと費用も高い。
せっかく獲得した顧客の中には依頼を面倒に感じ、
申告せず放置してしまう顧客も多かった。

「全てを自社で完結できるようにしたい」

麗奈は新たな決断を下した。

「税理士法人を買収しよう」

M&A という未知の領域への挑戦。
それは、どん底を経験した彼女だからこそ踏み出せる大胆な一歩だった。

借金、夜の世界、経理代行、そして M&A。
どん底で見つけたビジネスチャンスが、麗奈をさらなる高みへと導いていく。

(第 4 話へ続く)

編集長 岩下一智 (株) Tiger・HosBiz センター・執行役員
マーケット・クリエーター(MRC)

※ご質問や、詳しく知りたい方は編集部までお問い合わせください。

いかがでしたでしょうか、お楽しみいただけましたか？

次回は

中小企業経営者列伝、第16弾。4回シリーズ

太陽のような母と、倒れた父から受け継いだ経営魂。

父の倒れた日から始まった、本当の人生。

“返す”と決めたら、すべてが動き出した。

5億円の借金、夜の世界、そしてM&A

- 逆境を突破し続ける女性経営者の軌跡

会社2社を保有しながら生保レディを務める

兼城麗奈氏

の第4話、

予期せぬ試練、そして未来へ - 託す勇気と経営者の在り方

をお送りする予定です

お楽しみに！

~~~~~

■参考図書■Amazon 電子書籍&オンデマンド版

「理念経営道実戦教本」25年4月25日発売予定・・・定価：3300円（税別）

B5版 約190頁

委細はHP等でご案内いたします。HPも3月1日よりリニューアルいたしました。

<https://rinenkeidoh.com/>

著者：(株)Tigre・HosBiz センター

Captain 平本 靖夫

~~~~~

本記事に対するご質問やご感想は下記アドレスまでお願いいたします。

heart_gaia_gi@hosbiz.net

~~~~~

バックナンバーは下記のURLを確認してください。

<https://rinenkeidoh.com/MailMagazine>

社名：変更のご案内

第3の創業として、理念経営道を全身全霊をかけて普及の取組んでまいりますとともに持続可能な推進体制にするため「ティグレ社」とジョイントビジネス（JB）を組んで小規模企業・中小企業が「地域・業界No.1」となって、持続できるように「創客 伴走型経営支援」をすすめてまいります。HPをリニューアルした暁には、更に詳しくご案内させていただきますのでよろしくお願いします

**新社名:::(株)Tigre・HosBiz センター**（ティグレ・ホスビズセンター）

~~~~~ 次回予告 ~~~~~

皆様のコメントを励みにして、航海を続けていきますので、重ねてご支援ご鞭撻をよろしくお願いします。

次回、第696号

次回は

中小企業経営者列伝、第16弾。4回シリーズ

太陽のような母と、倒れた父から受け継いだ経営魂。
父の倒れた日から始まった、本当の人生。
“返す”と決めたら、すべてが動き出した。

5億の借金、夜の世界、そしてM&A
- 逆境を突破し続ける女性経営者の軌跡

会社2社を保有しながら生保レディを務める
兼城麗奈氏

の第4話、
予期せぬ試練、そして未来へ - 託す勇気と経営者の在り方

を、25・05・02(金)にお届けする予定ですので、
楽しみにしていてくださいね。

※なお内容は予告なく変更する場合がありますので、ご承知ください。

■LittleBiz 企業・中小企業で働く人々や、経営者が幸せでなければ、
私たちは「世のため・人のため」になれない。
とクルー一同尽力しております。

最後までお読みいただき感謝いたします。本当にありがとうございます。
では、また次号で元気にお会いしましょう！

◆発信日・・・・・・毎週・金曜日

◆発行責任者・・・・・・Captain 平本靖夫

◆編集長・・・・・・岩下一智・(株) Tigre・HosBiz センター・執行役員
マーケット・クリエーター(MRC)・・・・CST 開発推進責任者

プロフィール

<https://rinenkeieidoh.com/Members>

Facebook

<https://www.facebook.com/yasuo.hiramoto>

お問い合わせは <https://rinenkeieidoh.com/Contact> まで

.....

ご愛読ありがとうございます

著者：(株)Tigre・HosBiz センター

Captain 平本靖夫

プロフィールは

rinenkeieidoh.com/Members

◆はやぶさ・に関するお問い合わせ・質問は

メールアドレス：kazu_zohan@hosbiz.net

発行責任者：Captain 平本靖夫、

編集長：岩下一智 MRC